

＜宮城野区中央市民センター＞の取組み【目標2】

市民の皆さまが学びや情報を活かして地域で活動していただけるようお手伝いさせていただきます。

平成27年度の取組みをご紹介します。

平成24年度から養成している地域ガイドボランティア「宮城野原案内人」が、講座終了後も年間を通して転入者や地域の方々に宮城野原の魅力を伝える活動ができるように「宮城野原案内人の会」を立ち上げました。市民センターとしては月1回の定例会の中で、情報の提供や活動のアドバイス、コーディネートなどの支援を行っています。

今年度は、市民センターのコーディネートにより、9月に開催したJR陸前原ノ町駅主催の「駅長オススメの小さな旅」において、「宮城野原案内人の会」のメンバーがコースの提案を行い、榴岡から薬師堂、国分尼寺、宮千代塚、すすむし壇の案内ガイドの活動を行いました。

また同様に、原町小学校の5年生の授業、地元学「目指せ！宮城野大使」の中での講師に起用するなど活動の場の提供を行いました。

日常の支援としては、地域ガイド活動のためのチラシ作成、募集掲示などを継続的に行いながら、活動支援、人材育成支援を行っています。



ガイドのため自主学习（榴岡公園）



JR 小さな旅でのガイドの様子
（榴岡天満宮）



原町小学校での講師の様子



地域のお寺で建築と歴史についての
自主学习

＜生涯学習支援センター＞の取組み【目標2】

市民の皆さまが学びや情報を活かして地域で活動していただけるようにお手伝いさせていただきます。

平成 27 年度の取組みをご紹介します。

生涯学習支援センターでは、1 階の展示フロア・展示ウィンドウを使って市民の方やセンターを利用しているサークルの学習発表の場を提供しています。1 団体 2 週間を目安に利用していただいています。今年度は、地域の良さを写真に収めているサークルの作品展示や、普段の環境活動を知ってもらうため、パネルや写真にして展示するという市民活動の支援を行いました。生涯学習支援センターを活動拠点にしているサークルで制作した作品を飾り、多くの市民の方に見ていただくことができました。写真に写っているサークルの方々は、触察絵本「若草」の皆さんです。手で触れてもわかる絵本を布や色々な素材を使って作品づくりをしています。制作にあたって絵本作者に制作許可をもらうご苦労や 1 つの作品を完成させるのにものすごい期間がかかるなどのお話を伺いました。このような活動を展示を通して知っていただくのも支援の一つです。また、展示フロアでの展示案内はホームページ等を利用して随時紹介しています。今年度は、3 月までに 38 団体の利用がありました。

また、1月2月にサークル見学・体験会を開催し、「あなたのやりたいを見つける！」をキャッチフレーズに 27 サークル団体が参加し、20 代から 70 代までの 36 人がサークル体験会に参加しました。また、この中には 3 月からサークルに入ることを



〈高砂市民センター〉の取組み〔目標2〕

市民の皆さまが学びや情報を活かして地域で活動していただけるようお手伝いさせていただきます。

平成27年度の取組みをご紹介します。

☆平日夕涼みフェスをコーディネート

母子応援・被災地支援・支援者応援事業として27年度の「平日夕涼みフェス」は、若い世代の子育て中のパパやママまたは地域活動に参加したいと思っている若者を巻き込みながら「平日の祝日」に交流イベントとして実施しました。

いくさのねプロジェクトが実行委員会を立ち上げ市民センターも共催事業として関わり、互いに持っている情報や人脈・地縁を出し合い、人と人・人と地域・地域と団体とを結びつけ平成27年7月20日(祝月)に開催しました。

延べ1000人の参加者が県内外から40の出店団体や出演者と交流を図り、いくつかのサークルは良い結び付きを得ることが出来ました。

以前の子育てサロンは個人での参加者のみだったのが、平日フェスのイベントで子育てサークルと民生委員・児童委員をコラボさせキッズブースを共同実施したことで横の繋がりが広がり、サロンの内容にも3B体操を入れるなど広がりが出てきました。

また、ステージの出演者との音楽コラボにより平成28年度の共催事業に発展したD-プロジェクトや児童館・市民センターでの朗読会・お仕事体験でファッションモデルに挑戦など大人や子どもの夢や笑顔に出会える場として、さらに地域で活動している人達を結びつける場として実施します。



＜岩切市民センター＞の取組み〔目標2〕

市民の皆さまが学びや情報を活かして地域で活動していただけるようお手伝いさせていただきます。

平成27年度の取組みをご紹介します。

- ①岩切市民センターと岩切小学校との連携事業「地元学」において、岩切歴史探訪の会を紹介し「芋麻(からむし)織り体験」授業を行いました。(平成27年度で4回目)
- ②岩切老壮大学のメンバーが岩切保育所にてお手玉・けん玉・めんこ・紙飛行機作り等「昔あそび」をすることで園児と交流しました。(今年で5回目)
- ③岩切児童館より子ども達に「将棋」を教えてくれる方を探しているとの情報が寄せられ、以前主催事業「子どもの将棋教室」で講師を依頼していた方々に声をかけ、児童館に出向いて講師をしていただいた。
- ④お茶っこサロン開催にあたり、当市民センターでサークル活動をしている「折り紙サークルはぎ」に講師を依頼し、折り紙でおひなさまを作りながら参加者と交流しました。

「芋麻(からむし)織り体験」授業の様子



「昔あそび」の様子



お茶っこサロンの様子



＜鶴ケ谷市民センター＞の取組み [目標2]

市民の皆さまが学びや情報を活かして地域で活動していただけるようにお手伝いさせていただきます。

平成 27 年度の取組みをご紹介します。

鶴ケ谷の中心部に通称「ひょうたん沼」と呼ばれ、住民に愛されている公園があります。その公園を活動拠点にしている、センター主催事業から生まれた自主サークル「鶴ケ谷ひょうたん沼楽校」と、センターの関わりをご紹介します。

平成 27 年度主催事業「鶴ケ谷・燕沢さんぽみちーこのまちへようこそ」は、鶴ケ谷市民センター管内に最近転入してきた方や新築された復興公営住宅の入居者を対象に、鶴ケ谷・燕沢地域を紹介する、市民企画会議で企画した講座です。紹介したいこととして地域の歴史、自然、生活、そしてコミュニケーションを深めることを目標にしました。

自然を紹介する回は、やはりひょうたん沼周辺が良いということになり、「鶴ケ谷ひょうたん沼楽校」の皆さんに講師をお願いしました。今回の 11 月 12 日の季節に合わせた内容で案内ルートを決めたり、この講座で初めて講師を経験するサークルメンバーは、何度も下見練習をしたりと講座受講生はもちろん、サークルにとっても有意義な講座になりました。また、転入者を迎える地域住民として、サークルメンバーにも講座の昼食会に参加してもらい、交流を深めました。



＜榴ヶ岡市民センター＞の取組み [目標2]

市民の皆さまが学びや情報を活かして地域で活動していただけるようにお手伝いさせていただきます。

平成 27 年度の取組みをご紹介します。

榴ヶ岡市民センターでは、27年度は10回ほど、仙台駅東口界隈のまち歩きを実施しました。3年前に市民センターの講座から立ち上がった、東口ガイドボランティア「宮城野さんぼみち」の皆さんと共催で行っているものです。ガイドの皆さんが、3年前の講座受講後も学習とガイド活動を継続していらっしゃるのので、その学びの成果を地域の魅力発信という形で発揮していただいています。

毎回、まち歩きでは、市内各所からたくさんの方にご参加いただき、『こんな近くに、このような歴史があるとは知らなかった』とか『もっと知りたくなった』などのご感想をいただいています。まち歩きの参加者からガイドする側にまわる方もいて、生涯学習の良い循環を成しているとも感じております。また、様々な団体や中学校からの依頼もあり、少しずつ地域の活動として広まっています。



2月のまち歩きの様子



東華中学生へのガイド



ガイド研修会

＜東部市民センター＞の取組み〔目標2〕

市民の皆さまが学びや情報を活かして地域で活動していただけるようお手伝いさせていただきます。

平成27年度の取組みをご紹介します。

- ①市民センターで育成をし、地域の食育のために発足したサークル「食育サポーター『もぐもぐ』」の皆さんの活動を紹介します。

第9回 東部児童館共催「小正月ごっこ」東部市民センターHPより みずきのだんごさしとおしるこの小正月行事を楽しむ

日時：平成28年1月14日（木）11：00～12：00 会場：東部児童館遊戯室

第1部は、乳幼児を含む70名が参加されて「食育サポーターもぐもぐ」の皆さんが準備した色とりどりの団子を水木の枝にさしました。

朱塗りのお皿にのせたお団子を手に取り、一生懸命に枝にさしたり、お団子の感触を確かめたり、ママと一緒に飾り付けです。「だんごさし」を知らないママもいて、行事の由来に興味津々。とてもかわいらしく出来上がりました。「食育サポーターもぐもぐ」さんお手製のあんこで作ったお汁粉もふるまわれました。

第2部は、午後3時から小学生がみずきのえだに飾り物を作って付け、午前中の団子さしの枝を楽しく装飾しました。

市民センターでは、地域の乳幼児を待つ親子への支援として、講師や協力者として各種講座にご協力いただいています。

「食育サポーターもぐもぐ」の皆さんは、「若い世代の子育てや、食の環境を理解するために欠かせない活動として、積極的に取り組まれています。市民センターでは、参加されたお母様方のご意見をアンケート形式でとり、結果やご意見を活動に活かせるよう情報共有を図って、新たな地域活動につなげていきたいと考えています。



＜幸町市民センター＞の取組み〔目標2〕

市民の皆さまが学びや情報を活かして地域で活動していただけるようお手伝いさせていただきます。

平成27年度の取組みをご紹介します。

平成26年度に開催された幸町市民センター主催事業「図書ボランティア養成講座」の受講生8名により、図書ボランティアサークル「ひまわり」が結成されました。

平成27年度から活動を開始し、幸町児童館の図書室（幸町市民センターに併設）で本の整理と貸出し業務を中心に行っています。「ひまわり」のみなさんは、幸町児童館の子どもたちの人気者となり、「ひまわり」との交流を通じて、本を借りる子どもたちが増えました。また「幸町児童館まつり」では読み聞かせを行いました。

幸町市民センターではセンターだより・ホームページなどで広報し「ひまわり」の周知をはかるとともに、毎月、定例会を開催し、図書室の運営などについて、メンバーの意見や要望をききとりながら、活動しやすい環境づくりを行うなどの支援をしています。

今年度は更なる支援として「図書ボランティア養成・スキルアップ講座～読み聞かせ編～」を開催。受講生から新たなメンバーが加わりました。また学習の成果を活かし、幸町児童館の「おはなしひろば」で読み聞かせを行うなど活動を拡げています。



＜田子市民センター＞の取組み〔目標2〕

市民の皆さまが学びや情報を活かして地域で活動していただけるようお手伝いさせていただきます。

平成27年度の取組みをご紹介します。

主催事業「植栽ボランティア養成講座」より立ち上がった「緑のサークル」の8名は講座で剪定の技術や園芸の技能を学び、これらを活かしたボランティア活動が始まりました。主に田子市民センター周りの草木を学習の題材にしております。四季を通して（月2回の活動）センターの花壇の植え替えをしたり、美化活動を行っています。当市民センター主催「夏の講座」ではペットボトルで風車作りの講師を務めました。田子児童館主催行事では、餅つき大会のお手伝いをしました。その準備は、緑のサークルが中心にしてくれました。当市民センターでは、一層活動の場が広がるように支援をしています。

- ・4月 土づくり・除草など
- ・5月～6月 緑のカーテンづくり・ゴーヤ・きゅうり・トマトなどの苗を植え付けネット張り
- ・7月 除草・カエデとツツジの剪定 市民センター植込みの樹木の剪定など。
- ・8月 夏の講座（市民センターより講師を依頼）では、地域の子供達にペットボトルで風車づくりを指導。
- ・9月～10月 松の剪定の仕方を学ぶ。緑のカーテンのネットの撤去。
- ・12月 市民センター主催事業「ミニ門松を作ろう」では、緑のサークルが全員講師となり、地域の人にミニ門松づくりの指導にあたった。
- ・1月 田子児童館主催の「餅つき大会」では、子供達は、杵と臼を使っての餅つきを体験した。館内は子供達の大きな笑い声で賑やかだった。
- ・3月 次年度の計画について
外作業の準備（花壇の枯れた草木など取り除いた）



苗の植え付け作業



ミニ門松作り



夏の講座



餅つき大会

＜福室市民センター＞の取組み〔目標2〕

市民の皆さまが学びや情報を活かして地域で活動していただけるようお手伝いさせていただきます。

平成27年度の取組みをご紹介します。

各町内会、社会福祉協議会では、民生委員が中心となって「いきいきサロン」を開催し、地域のお年寄りの方々に「ふれあいの場」を提供しています。しかし、長年続けているとマンネリ化は避けられず、市民センターに講師選定等について相談を寄せられるようになりました。市民センターでは各組織のねらい等をお聞きしながら、ニーズに合った講師を紹介し、実施してもらったところ大好評で、感謝されました。こうした取組は民生委員を通して地域内で共有され、今年度は5か所で出前講座という形で実現することができました。

講師は高齢者対象ということで、音楽、笑いをテーマとした方が中心ですが、中にはこのサロンで地域の歴史を勉強したいが適切な講師はいないかという相談もあり、地域で活動している「高砂おたから探訪の会」を紹介しました。

民生委員の方々が市民センターを活用しようとしてくれるようになり、活動を支援できるようになったことで、今後この地域での高齢者支援のための諸事業を行う際にも大きな力を得ることになりました。

